

# 高性能AE減水剤 収縮低減タイプ

# フローリック SF500SK・RK

NETIS 登録番号  
CB-110024-VE

近年、良質な骨材の枯渇化に伴い、単位水量の増加や乾燥収縮の増大などによるコンクリート構造物の耐久性の低下が問題となっています。フローリック SF500SK・SF500RK はコンクリートの耐久性を向上させるために当社が独自に開発した、JIS A 6204（コンクリート用化学混和剤）に適合する乾燥収縮低減タイプの高性能 AE 減水剤です。

## 特長

- 当社が独自に開発した乾燥収縮低減成分を配合した一液タイプの高性能 AE 減水剤です。
- 優れた分散性により、一般強度から水結合材比 40%以下の高強度・高流動コンクリートまでの様々なニーズにあったコンクリートの製造を可能にします。
- 当社の高性能 AE 減水剤フローリック SF500S・SF500R のフレッシュおよび硬化コンクリートの性状を変えることなく、コンクリートの乾燥収縮を 5%から15%程度まで低減することができます。
- 無塩化タイプです。

## 物性

種類	区分	主成分	外観	塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> ) (%)	アルカリ量 (%)	密度 (g/cm <sup>3</sup> )
SF500SK	標準形	ポリカルボン酸系化合物と	茶褐色	0.01*	0.7*	1.02 ~ 1.10
SF500RK	遅延形	グリコールエーテル系誘導体	液体	0.01*	0.7*	1.02 ~ 1.10

※分析値例

## 使用方法

- フローリック SF500SK・SF500RK は、単位水量の一部として計算してください。
- フローリック SF500SK・SF500RK は、使用目的に応じて、セメント質量に対し 1.0 ~ 3.0wt% の範囲でご使用ください。
- 使用に先立ち、試し練りなどにより使用量を決めてください。

## 空気量の調整方法

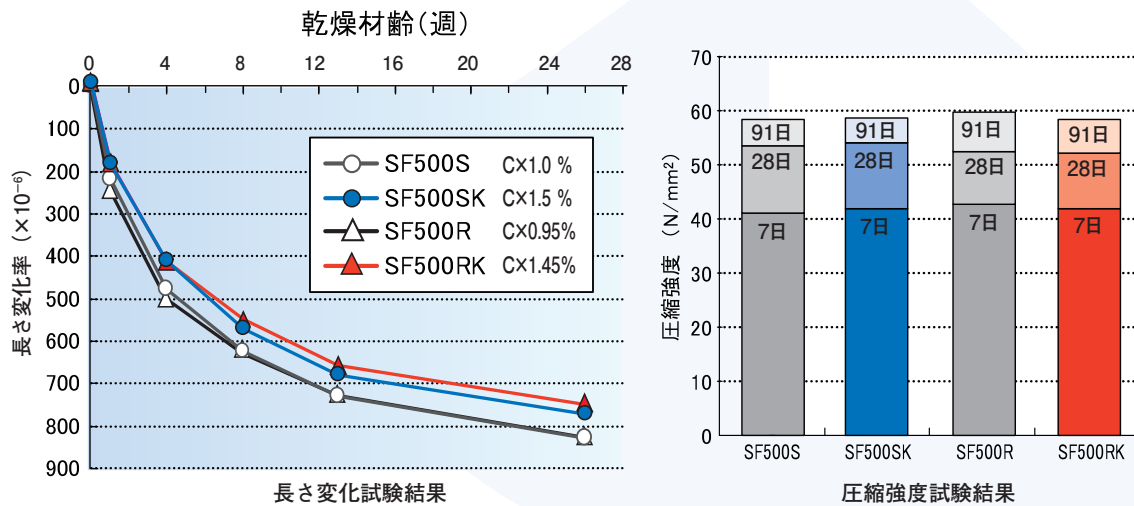
- 連行空気が少ない場合は、フローリック専用の AE 助剤をご使用ください。AE 助剤の使用量は、当社担当者にご相談ください。



## JIS A 6204 (コンクリート用化学混和剤) による試験結果

項目		高性能AE減水剤 標準形 I 種 (規定値)	<b>フローリック SF500SK</b>	高性能AE減水剤 遅延形 I 種 (規定値)	<b>フローリック SF500RK</b>
減水率 (%)		18以上	19	18以上	19
ブリーディング量の比 (%)		60以下	14	70以下	21
凝結時間の差 (分)	始発	-60~+90	+50	+60~+210	+130
	終結	-60~+90	+35	0~+210	+115
圧縮強度比 (%)	材齢 7日	125以上	141	125以上	138
	材齢 28日	115以上	130	115以上	132
長さ変化比 (%)		110以下	85	110以下	84
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60以上	77	60以上	73
経時変化量 (60分後)	スランプ (cm)	6.0以下	3.0	6.0以下	1.0
	空気量 (%)	±1.5以内	-0.5	±1.5以内	-0.5

## 試験結果例 (社内データ)



\* 細骨材：山砂 粗骨材：硬質砂岩を使用 (W/C=50%、C=340kg/m<sup>3</sup>)

## 取り扱い上の注意

- フローリック製品が皮膚に付着した場合には、清水で洗浄してください。
- 飲み込んだ場合には、直ちに吐き出し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合には、清水で洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 詳細は、当社の安全データシート(SDS)をご覧ください。

## 使用上の注意

### ● 異種混和剤の場合

高性能AE減水剤の混合は、沈殿やゲル化を生じる恐れがあり、また所定の性能が得られない場合がありますので、銘柄や主成分の異なる高性能AE減水剤の混合および併用は避けてください。

### ● 凝集剤の影響

濁水処理や泥分処理の結果として回収水や細骨材に残留する凝集剤は、その濃度によっては、コンクリートの初期流動性を低下するような悪影響を与えることがあります。特に有機系凝集剤にはご注意ください。

### ● 次バッチの空気量の影響

次バッチのコンクリートの空気量が増大する場合がありますので、ご使用にあたっては、当社担当者にご相談ください。

### ● 練混ぜ水の影響

練混ぜ水に回収水を用いる場合、スラッジ固形分率のばらつきが、空気量の変動要因となります。また、アジテータ車の洗浄水が混入した回収水層ピットの形状により、泡立ちが発生する可能性があります。泡立ちの大きい場合には当社の専用消泡剤（希釈液）を所定量アジテータ車に添加しご使用ください。

## 荷 姿

タンクローリ

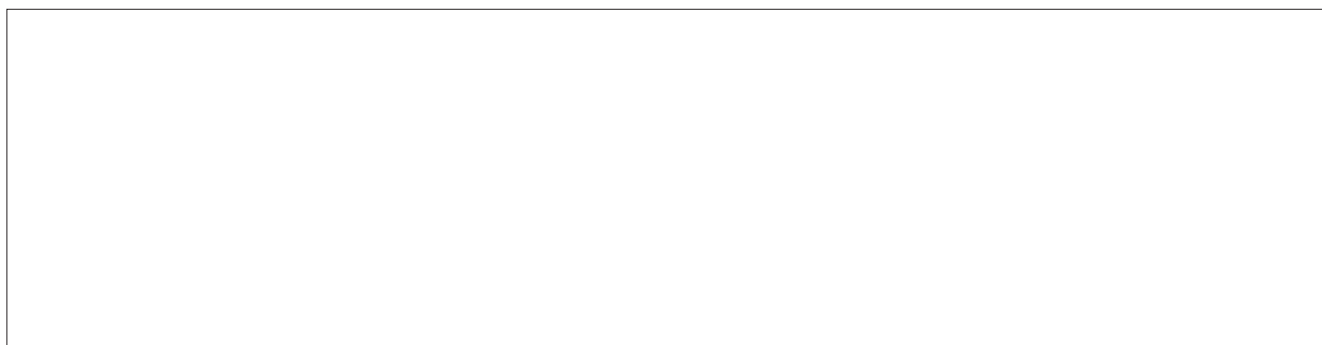


日本製紙グループ

株式会社フローリック

本 社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-10-1 TEL.03-5960-6911 FAX.03-5960-6915

ホームページ：<http://www.flowric.co.jp>



記載データは、標準的な材料を使用して行った試験結果です。使用材料、配（調）合および環境条件が異なる場合の状態を保証するものではありません。事前の試し練りなどで性能を確認することをお勧めします。